

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム暖楽家

## 目標達成計画

作成日: 平成31年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流は限られた一部の団体等の為、事業所周围には今だに認知度が低いと思われる。	事業所は新興住宅地にあり周辺住民とも関わりを持って存在感ある事業所になる必要がある。	町内会を通し地域行事等に積極的に参加し地域との関わりを深める。	12ヶ月
2	4	運営推進会議の出席者が限定されており会議を通して多くの意見を取り入れることができずホームのサービス向上に今一つ貢献できていない。	利用者家族、地域の住民など広範囲に声掛けし事業所のさらなるサービス向上に繋げる。	利用者家族には来所時や家族会などで随時、会議の紹介、出席の働きかけを行い、出席に興味ができるような企画を計画し地域へも働きかける。	6ヶ月
3	35	様々な災害が発生した時に備え近隣との協力体制の構築に不完全なところがある。	如何なる災害が発生した時にでも対応できる協力体制を事業所周辺の近隣住民と築く。	事業所として日常生活のなかでの近隣との関わりと理解を深めてもらう為先ずAEDの設置事業所であることを訴え近隣に関心を持って頂く。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。